

新宿区議会

羊平レポート

自民党区議団ニュース
平成24年1月 Vol.2
新宿区議会議員 桑原 羊平

昨年の東日本大震災の教訓を重く受け止め、更なる安全・安心のまちづくりの整備に万全を尽くして参ります。12月の定例議会で私にとりまして初めての自民党代表質問を40分間行いました。今回は第2次実行計画が出たので、これから4年間の区財政の見通しや、昨年から特に交通量の多くなった自転車問題、現在の教育問題についての4点を質問させて頂き、皆様にご報告のレポートをまとめました。



1、区財政の状況について

質問 新宿区の区財政は現在も今後も厳しい財政運営が迫られる事を示しているが、現状と今後の見通しについてどう考えているのか。

回答 扶助費などが伸び、一般財源収入が減少、区を取り巻く財政環境はより厳しく、今後も続くものと考えている。

2、平成24年度の予算編成について

質問 財政調整基金と区債との活用割合に大きな差が生じている要因と基金の運用はどのようにするのか。

回答 区債の発行は、将来の歳出予算に影響を与えることから、基金での対応を基本としている。残高確保・繰入金の圧縮に努めて的確に運用する。

質問 休日窓口開設の本格実施に向けた検証はどのようであるか。

回答 繁忙期の実績に近い需要がある。施行状況の結果を検証し、本格実施に向けて検討していく。現在試験的に第4日曜日9時～5時まで開庁しています。

質問 計画期間中の定員適正化による人件費の削減について

回答 201名の職員削減で期間中の総額で36億円を上回ると試算している。

質問 受益者負担のあり方について

回答 第二次実行計画に合わせ、基本的な考え方を整理する。

質問 保育量の改定案の他区との比較について

回答 他区と比較して、突出していない。

質問 建築物等耐震化支援事業について

回答 モデル地区を総合危険度4の地域に拡大し、区民に確実な情報提供を行っていく。



3、自転車などのマナーの喚起について

質問 最近の自転車問題と損害保険の啓発について

回答 歩道をスピードを出して走るなど、ルール・マナーを守らない利用者も増え、区も警察と連携し、安全利用の推進に取り組むとともに、賠償責任保険等への加入の必要性を自転車利用者に広く周知していく。

質問 「歩道を走る自転車」、「放置自転車」、「路上喫煙禁止」の指導の一元化について

回答 平成24年度、新宿駅東口周辺で、試験的に「放置自転車」と「路上喫煙禁止」の指導を一元化して委託することを検討している。



4、教師と生徒、教師と保護者との間の信頼関係について

質問 教師の資質の向上と信頼関係について

回答 事例を通して、児童・生徒との信頼関係の構築の仕方や教師としてのあり方などの真剣な議論が行われている。以上